

健康管理指標の開発のための研究

1. 研究の対象

平成23年（2011年）9月以降に当院または本研究の共同研究機関で健康診断を受けられた方、またはそのご家族を対象とし、その時点で、この研究に参加されることに同意をいただいている方が対象です。

2. 研究目的・方法・期間

【研究目的】

本プロジェクトでは、健康診断におけるよりよい健康管理指標の開発を目的として多施設共同研究で解析を行っています。また、健康診断などの受検者などの正常者の解析結果と、病気をもつ症例の解析結果を比較検討することにより、病気の予防や早期治療にも役立つような、健康診断時の健康管理指標の開発を目指しています。

【研究方法】

研究への参加協力にご同意いただき、通常の方法で血液を約7-20mL、尿を約20 mL採取します。採血、採尿に伴う危険は殆どありません。血液などの検体に含まれるDNAやRNAという物質を取り出し、遺伝子の構造を解析します。調べる対象は、現在明らかになっている痛風の主要な病因遺伝子を含め、関係する可能性のある数多くの遺伝子です。

近年、技術革新が進んだことにより、ゲノム全域の多様性について病気との関わりを調べることができるようになりました。ゲノム全域の多様性の解析については、共同研究機関である久留米大学医学部医化学講座で主に解析され、国内外の研究機関との共同研究として解析します。

防衛医科大学校で遺伝子解析の多くが実施され、検体も責任を持って保管されます。研究終了後は、倫理委員会で定められた期間、厳重に保管した後、研究用IDを付けた状態で、密封容器に破棄あるいは焼却処分します。

将来、検体を医学研究に用いる場合には、改めて研究計画書を提出し、倫理審査委員会の承認を受けます。

【研究期間】

本研究は平成23年（2011年）9月から令和15年3月にかけて行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では血液を約7-20 mL、尿を約20 mL程度採取します。合わせて、年齢、病歴、治療歴といった臨床情報等を収集します。

4. 研究に用いる試料・情報の管理についての管理者

研究に用いる試料・情報の管理についての管理者は研究責任者が兼ねています。

試料・情報の利用については、研究用の ID 番号を作成し、すぐには個人を特定できないように加工したもの（仮名加工情報）を作成します。作成時の情報については研究責任者が厳重に管理します。また、加工後の情報についても、この研究に参加する研究者のみで利用します。

5. 外部との試料・情報の授受

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。提供の記録は当校、それぞれの機関の研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

防衛医科大学校 松尾洋孝 ほか（詳細は以下の防衛医科大学校分子生体制御学講座公式ホームページ <http://ndmc-ipb.browse.jp/> をご参照ください）

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて参加者もしくは参加者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも参加者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

防衛医科大学校 分子生体制御学講座

松尾洋孝（研究責任者）

Tel: 04-2995-1482 Fax: 04-2996-5187